



POINT

- 現場打ちコンクリートを使用しない**
横帯工を全て二次製品化することにより、現場打ちコンクリートを使用しません。(但し法長調整用のコンクリートは必要となります。)
- 省力化・省人化・効率施工**
ブロックを据付け、ボルト連結するだけ。施工が簡単・確実にでき、工期短縮が可能です。また、型枠工の専門職も不要です。省力化・省人化に寄与します。
- 景観と調和・・・《黒色＋粗面》製品**
黒色仕上げです。無色(白)もあります。表面は割石模様ですので、周囲との調和が期待できます。
- 適用範囲**
勾配が1:1.0～法面の横帯工、階段工の縁コンクリート部。

▶ 張りブロック

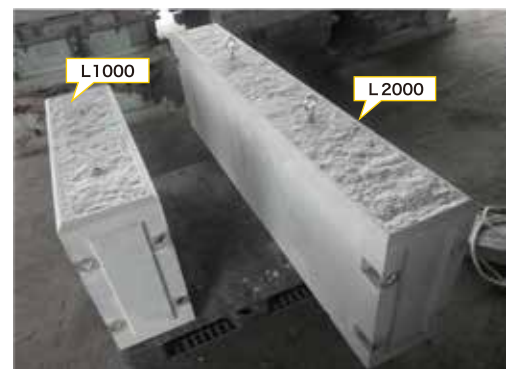
横帯エブロック 横づな

● NETIS 登録 No.QS-150028-VE

工程比較

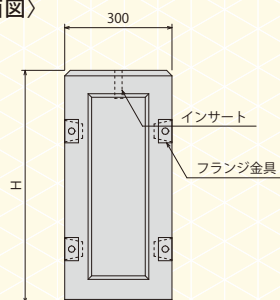
■ 従来工法と横づなの工程比較表

工程	日	1日	2日	3日	4日	5日
< 従来工法 (現場打ち) >						
型枠設置工						
コンクリート工						
養生工						
型枠撤去工						
< 横づな (コンクリート2次製品) >						
敷モルタル工						
製品据付け工						

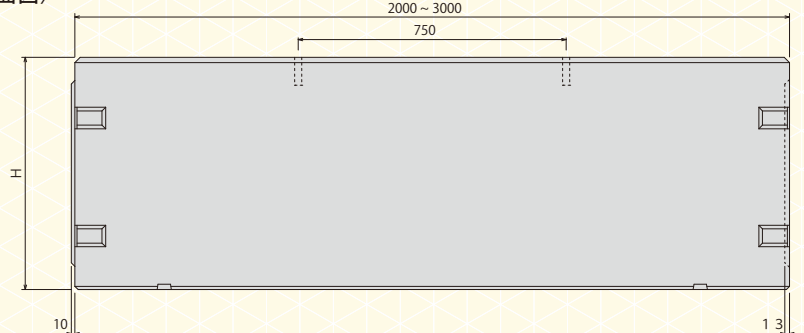


製品詳細図

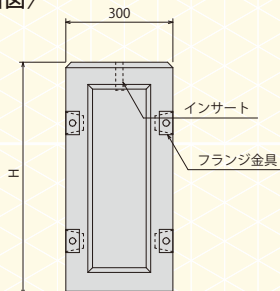
〈正面図〉



〈側面図〉



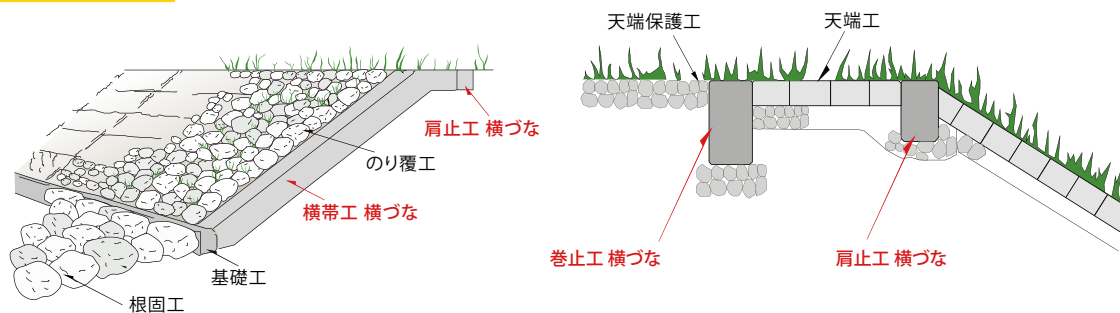
〈背面図〉



種類	長さ (mm)	幅 (mm)	高さ (mm)	参考重量 (kg/個)	使用個数 (個/10m)
標準型	呼び名				
L3000	H250	3,000	250	518	3.3
	H300		300	420	
	H400		400	560	
	H500		500	690	
	H600		600	830	
	H650		650	900	
L2000	H700	2,000	700	970	5.0
	H750		750	1040	
	H800		800	1110	
	H850		850	1180	
	H900		900	1250	
	H950		950	1310	
	H1000		1,000	1,380	

※ 端部型L1000もあります。参考重量は標準型L2000の半分です。
H250に関しては3分の1です。
750、850、950も製造は可能です。

参考使用箇所



施工手順

据付の手順

- ① 製品の据付けにあたり、敷モルタルや砕石等で据付け面を平らにします。
- ② 吊治具を上部2点に取付けます。
【参考】据付け勾配と角度 θ (チェーンと製品の角度)の目安
3割=72°、2割5分=68°、2割=63°、1割8分=61°、1割5分=56°、1割2分=50°、1割=45°
- ③ 周囲の安全確認を行い、重機(クレーン等)で製品を吊上げ所定の位置に据付けます。
- ④ 2個目以降は、製品合端の凹凸を確認し前後の高さや、並びを調整しながら据付けて行きます。
- ⑤ 据付け後、フランジ金具部をボルトナット(M16)で連結します。
- ⑥ 連結完了後、モルタルで塞ぎます。

明度証明

明度 5.0



施工実績



沖端川〈福岡県〉 H=500



秋津川〈熊本県〉 H=650



白川〈熊本県〉 H=650



田手川〈佐賀県〉 H=300